

## 牛が大好きな生徒たち 日頃の鍛錬の成果を競う



第58回宮崎県学校農業クラブ連盟大会家畜審査競技会が去る平成19年6月19日に開催されました。今回の開催地については、日南農林高等学校が大会事務局でありましたが、都城農業高等学校並びに都城農業協同組合の協力を得て都城地域家畜市場で開催されることとなりました。

会場設営にあたっては、生徒自ら工夫を凝らし、メイン会場に花を飾る等、明るく・きれいな会場が設営されていました。また、花を飾る事で来賓の方々を暖かく迎える心遣いが感じられ、8頭の供試牛についても、待機場に畳を敷くなど愛牛や生産者に負担のかからないよう細やかな準備が施されていました。大会運営全般を通じて、両校の生徒たち一人一人の息の通った機敏な動作が印象的でした。



このような素晴らしい舞台上、日南農林高等学校、都城農業高等学校、高原高等学校、高鍋農業高等学校、高千穂高等学校の5校から、黒毛和種の部に58名、ホルスタイン種の部に31名、合計89名が参加され、これまで培ってきた審査技術を競いました。

黒毛和種の審査競技では、4頭の供試牛について体積・均称・資質・品位等黒毛和種の審査標準に照らした牛の相対的な序列と、資質・品位及び前軀・中軀の3項目の優劣序列判定について出題されました。今回の4頭については、どの項目も優劣序列をつけがたい供試牛であったため、生徒たちの中に何度も首

をかしげる仕草が見られました。その中で生徒の皆さんは、牛一頭一頭を入念にかつ慎重に比較しながら熱心に審査し、日頃の鍛錬の成果を競いました。

競技の結果、黒毛和種の部は、日南農林高等学校2年の松本美来さんが、ホルスタイン種の部は、高原高等学校2年の柚木崎裕也君が第1位に輝きました。松本美来さん並びに柚木崎裕也君の成績は、技術員顔負けするほどの素晴らしい成績でありました。

閉会式において、宮崎県学校農業クラブ連盟会長 日南農林高等学校3年柳田会長から、本日の家畜審査競技会が盛会に開催されたことへの感謝の気持ちと、協力していただいた生産者の方々並びに各関係者へのお礼の言葉を述べられました。そして、本日黒毛和種の部で優勝された松本美来さんに対し、「宮崎県代表として第9回全国和牛能力共進会の和牛審査競技会で頑張って欲しい」と激励の言葉が述べられました。

第58回宮崎県学校農業クラブ連盟大会事務局長 日南農林高等学校 岩下校長からは、「ここJ A都城家畜市場に、県内の農業関係高等学校から牛について学ぶことが大好きであったり、将来、牛飼いを家業とすることを目標としている生徒諸君が集い、日頃の教室や農場での学びの成果を学校や地域の代表として牛を見極める眼を競いあった。審査講評も丁寧にして頂き十分理解できたと思う。これからもこのような機会を積極的に作り、本日ここで競い合った仲間と共に、畜産県みやざきを支える優秀な担い手となって欲しい」とコメントを頂きました。



日南農林高等学校 岩下校長



今回の家畜審査競技会を振り返り、審査競技に参加した生徒さんたちの審査する眼が輝きに満ちており、牛に対する熱い思いが非常によく伝わってきました。又、黒毛和種の部で、引き手を担当した都城農業高等学校1年生の生徒8名は、今日のはじめて対面する牛に不安はあるものの、少しでも良く見せようと二人一組となって必死に取り組む姿が印象的でありました。そして競技会を成功へと導いた生徒たち、供試牛を出品して頂いた生産者の方々、各高校担当の先生、各関係者が一体となる素晴らしさ並びに力強さを再確認させて頂きました。

おわりに、牛が大好きな生徒たちが、一人でも多く地域に残り、優秀な担い手となって宮崎県の畜産発展のために活躍して頂きたいと熱望いたします。そして、黒毛和種の部で優勝された松本美来さんが、第9回全国和牛能力共進会鳥取県大会の和牛審査競技会高校の部で日本一を目指してがんばって頂きたいと心から応援致します。

取材:全国和牛登録協会 宮崎県支部